

JR不採用問題解決の到達点を活かし、雇用問題、組織拡大の全面解決を実現しよう！

国労東日本本部第24回定期大会



大会は延期承認から進められ、選挙管理委員会の設置、経過報告・運動方針（案）の提案を松井書記長が一括で提案し、規約改正、協約

2日目は、引き続き経過報告に対する質疑から再開し、代議員3名が発言。執行部からの答弁で承認。続いて、機関紙表彰、組織拡大標語の表彰（詳細は別掲）の後、運動方針（案）に対する討論に入った。冒頭、運動方針（案）に対する修正動議の提出者代表による趣旨説明。以降、執行部の中間答弁を挟み19名の代議員発言（次号）と書記長集約（要旨別掲）で運動方針を全体の拍手で確立した。尚、修正動議については挙手による採択で賛成15、反対44により否決された。

大会は佐藤副委員長の下、会挨拶から始まり、59名中58名の代議員と全構成員の出席確認を資格審査委員会が報告し大会の成立を宣言。議事運営委員会を設置し、議長には中澤代議員（東京）

大宮、副議長には森本代議員（仙台・総合車両所）を選出し議事に入った。大会に先立ち挨拶（詳細別掲）した高野委員長は、「多くの課題はあるが、国労運動前進に向け奮闘する。」と決意を述べた。

協定の締結承認、決算関係の財政議題の承認を踏まえ、予算（案）の提案、東日本本部委員の選挙告示の後、経過報告に対する質疑に入り、5名の代議員が発言。執行部からの答弁で終了予定の時間となり1日目が休会。

国労東日本本部は、9月2～3日、第24回定期大会を埼玉県・さいたま市で開催し、当面する運動方針を確立しました。今号は、大会特集【その1】として代議員の発言を除いた部分の報告とします。



組合員の購読料は組合費に含まれます
港区新橋5-15-5 交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 702 定価 20円
2010年 9月 21日

第24回定期大会
国労加入で変えよう
職場と労働条件
特集(その1)
<http://www.e-nru.com>
携帯用ホームページはこちらのQRコードから

来賓・メッセージ むりがたうらやまいしました

出席された来賓の皆さん
元 呑勝（関東交通労働協議長）
宮坂義久（全交通共済東日本事業本部本部長）
伊藤秀樹（国労会館専務理事）
高橋伸二氏（国労中央執行委員長）
本部出席者：濱中書記長、鈴木執行委員、小池執行委員、栗原執行委員、星野執行委員
原田洋一（東京闘争団団長）
福田 護（東日本本部顧問弁護団）
メッセージ
海渡雄一（東日本本部顧問弁護団）
渡邊良成（国労東海本部執行委員長）
田中守（西日本本部執行委員長）
福岡有二（四国本部執行委員長）
伊藤一之（九州本部執行委員長）

委員長 あいさつ



委員長 苗実 高野
執行委員 高野
その先頭に立つ

国労の最大の課題である「JR不採用問題」が、和解成立により裁判は終結しました。23年という長い年月の中で闘争団組合員、家族の決意と、国労組合員、全国の共闘関係の支援があったからこそ成し得たことに他なりません。しかし、全面的解決に向け、残された「雇用問題」に全力をあげ取り組みなければなりません。

二つ目の課題は、安全・安定輸送確立についてであります。

今まさにJR東日本グループの経営基礎である

その後議事は、予算（案）に対する質疑・承認、選挙管理委員会から2010年度東日本委員の選出報告、スト権投票と進み、特別決議（案）と大会宣言（案）を採択し全日程を終了した。

安全・安定輸送、社員・パトナー会社社員の死亡事故ゼロをめざす方針が根底から揺らいでいます。事故の根本的原因をあいまいにせず、事故発生の際の事例を発見・取り除く技術力の維持・向上に向けた取り組みが重要な課題であると思います。

三つ目の課題は、組織強化・拡大であります。

今後の国労の将来を展望するうえで、組織強化・拡大は最重要課題であるとの認識から今日まで全力をあげ取り組みを進めてきました。

組織拡大の現状は、中労委での係争事件の一括和解から約4年、83名の仲間を国労に迎え入れることができ、新規採用者の加入は今年で4年連続となりました。

組織拡大を図るためには、職場活動の活性化が重要であると考えます。そのためにも、「仕事・安全総点検運動」を基軸に職場活動の活性化を推し進め、職場を原点に組織拡大に向け取り組みを訴えます。

私たち国労東日本本部は、さらなる国労運動前進に向け、その先頭に立ち奮闘する決意を申し上げ、執行委員会を代表しての挨拶とさせていただきます。

（ホームページに全文掲載）

国労東日本主催
皇居マラソン大会
12月11日11時、桜田門時計台前集合
申込は各地方本部へ

機関紙表彰 組織拡大標語 大会で表彰

最優秀表彰	気仙沼	盛岡	気仙沼地域分会
最優秀表彰	ろばた	仙台	東北工事事務所分会
最優秀表彰	支部日報	秋田	総合車両センター支部
最優秀表彰	郡工情報	仙台	郡山工場支部
最優秀表彰	分会かべしんぶん	東京	蒲田車掌区分会
最優秀表彰	スクラム	長野	長野総合車両所支部
最優秀表彰	38回連続運動会	高崎	高崎地本
最優秀表彰	蘇我運輸区分会ニュース	千葉	蘇我運輸区分会
最優秀表彰	分会通信	仙台	郡山工場貨物分会
最優秀表彰	闘志	千葉	千葉車掌区分会
最優秀表彰	連結器	東京	田町電車区分会
最優秀表彰	団結	仙台	仙台総合車両所支部
最優秀表彰	ガンバ組立	仙台	仙台総合車両所組立分会
最優秀表彰	国労仙台	仙台	仙台地本
最優秀表彰	国労高崎	高崎	高崎地本
最優秀表彰	分会情報	仙台	郡山駅連合分会
最優秀表彰	国鉄新潟	新潟	新潟地本

国労加入で、変えよう職場と労働条件！ いつでもどこでも声かけて増やそう未来の仲間達

- 他労組合員に呼びかける組織拡大標語
- 最優秀 千葉 小林春彦
- 国労加入で、変えよう職場と労働条件！
- 優秀 長野 鈴木 英人
- 仲間を信じ仲間を作り職場に広がる仲間の笑顔
- 優秀 秋田 宇佐美 久蔵
- あなたの？疑問は国労へ。皆で解決しませんか！
- 優秀 千葉 松田優一
- 信じあえる仲間ができる、国労へ！
- 優秀 千葉 高木 寛
- 我々一人一人の思いを…次の時代につなげよう！
- 国労内部を対象とした組織活性化に向けた組織拡大標語
- 最優秀 長野 久保田 浩幸
- いつでもどこでも声かけて増やそう未来の仲間達
- 優秀 長野 大日方 敏
- 一声が仲間をつくる第一歩
- 優秀 仙台 高橋 進
- 次世代へ 残そう活かそう 国労運動
- 優秀 仙台 高橋 和彦
- 解決の 今こそチャンス 組織拡大
- 優秀 仙台 橋本昭二
- 職場から拡大しよう組織と運動



書記長 集約



国労東日本本部
書記長 松井正義

1 番目として、国鉄闘争の勝利の闘いについて
これまで国労の闘いを物心両面から支援していただいた共闘の仲間、弁護団の力が結実して今を迎えていることを片時も忘れてはなりません。こうした仲間や諸団体、そして先人たちの思いや声に応える道は、国労が将来にわたって労働組合として強化・発展を遂げることに外にありません。国鉄闘争勝利の出口は、組織強化・拡大を勝ち取り、健全かつ正常な労使関係をJR会社との間に確立し、職場の中心に国労組織と運動を根づかせ、これまでの間に失ったあらゆる力を取り戻し、新たな仲間と、いや応なく離れざるを得なかった仲間を結集させることであり、そのための体制の整備と具体的強化です。

2 番目、組織強化・拡大の闘いについて
組織拡大は具体的な成果を挙げ、まさに点から線へと移行しつつあります。再度、職場での国労運動の根源である「仕事・安全総点検」「職場総点検」の取り組みを強化し、すべての仲間から信頼と共感を得る取り組みを具体的に提示していくことです。

3 番目に、合理化・効率化施策との闘いについて
合理化・効率化施策に対する取り組みは、各地方本部・地区本部業務部長・職協代表者会議をベースにした、業務にかかわる専門委員会を設置し、問題意識や情報を共有できる体制づくりに向けて議論を進めていきます。

4 番目として、出向施策における諸問題の取り組みについて
去る8月25日、ジェイアールバス東北における団体交渉を開催され、出向先会社における諸問題・諸課題に対するJR会社の具体的対応のあり方に、一歩前進が見られ、今後の出向者・出向問題での大きな成果になります。今後は私たちの側の体制づくりが急務です。第10回出向連総会を開催し、皆さんの率直な意見や声を聞くことからスタートし、東日本本部としての取り組みの強化を今以上に進めていきます。

5 番目として、反戦・平和、憲法改悪反対、民主主義擁護の闘いについて
反戦・平和の闘いと労働法制改悪、医療・年金・教育制度等の社会保障制度の改悪阻止に向けた闘いに具体的に取組むことです。各都県での平和運動センターに積極的に

取り組み、中央・地方で開催される平和集会等への参加を取り組みます。

6 番目は一括和解の実効を求める取り組みのさらなる前進に向けて
JR東日本との和解から丸4年が経過しようとしています。本大会終了後速やかにJR東日本に対して、検証をもとにした申し入れを当該地方本部と連携をとりながら行っていくべきです。

7 番目として、労働条件に関する協約の締結に向けた取り組みについて
大会の議論の中においてさまざまな角度からの意見をいただきました。労働協約締結の議論を開始しようとした第17回大会から7年の歳月が経過をしました。幅広い国労加入が続いています。四半世紀に及ぶ長い闘いの天王山ともいえるJR不採用問題が最終局面を迎えたこの節目の時と、これまで闘い続けてきた力をバネに、組織の総力を挙げて組織拡大に取り組むことを先の全国大会で確認をしました。

東日本本部は、労働条件に関する協約とその締結については、組織強化・拡大をはじめとした取り組みの客観的条件の整備という点から極めて重要です。締結交渉に向けてのスケジュールなどについては、大会後開催する各地方本部書記長・業務部長会議において協議します。方針の中にある具体的な取り組み④については、主体である組合員の納得・理解を得ることは必然と考えます。設定目標ありきではなく、東日本本部として総合的な現状、状況を十二分に把握し、その点をベースに機関会議を開催して判断していきます。したがって、締結の可否、承認については規約に基づき取り扱っていきます。

以上、第24回定期大会の集約答弁とします。2日間にとわたるご議論・討論、大変ご苦労さまでした。

医療の進化にあわせた、
アフラックのいちばん新しい
「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える
アフラックの
がん保険

「生きる」を創る。
Aflac
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
◎詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF104-2008-0124 4月18日